



2026 年 8 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社REVOLUTION

代表者名 代表取締役社長 砂川 優太郎

(コード番号 8894 東証スタンダード)

問合せ先 代表取締役社長 砂川 優太郎

(TEL. 03-6627-3487)

社内調査委員会の調査報告書に関するお知らせ

当社は、2026 年 6 月 15 日付開示資料「2026 年 10 月期半期報告書のレビュー結論不表明に関するお知らせ」のとおり、当社の会計監査人である監査法人アリア（以下、「当監査法人」といいます。）から 2026 年 10 月期半期報告書の中間連結財務諸表について結論を表明しない旨の期中レビュー報告書を受領いたしました。

そのため、2026 年 6 月 15 日同日に、当社、当社連結子会社の WeCapital 株式会社及びヤマワケエステート株式会社（以下、「YE 社」といいます。）では、それぞれにおいて臨時取締役会を開催し、当該レビュー報告書の原因となった疑念（以下、「本疑念」といいます。）を払拭し得る十分かつ適切な監査証拠を提出することを目的として外部専門家を交えた社内調査委員会（以下、「本社内調査委員会」といいます。）を設置することを各社において決議し、当社では、その旨を 2026 年 6 月 15 日付開示資料「社内調査委員会の設置に関するお知らせ」にてお知らせしておりました。

その後、当社は、2026 年 8 月 10 日付開示資料「社内調査委員会による調査の状況に関するお知らせ」のとおり、主に社内調査委員会における外部専門家の選任が諸事情により遅くなり、外部専門家の選任に想定以上の時間を要する結果となり、7 月 31 日に調査を完了させるという当初想定していたスケジュールに比べて調査が遅延していること、7 月 7 日に社内調査委員会の委員を選任して同日に社内調査委員会を設置したものの社内調査委員会において YE 社が組成したファンド全件について調査対象とした網羅的調査を行うなかで YE 社の内部資料のみでは不動産取引であるのか金融取引であるのかの判別ができず、YE 社の社内ヒアリング及び外部ヒアリング並びにフォレンジック調査を踏まえて判断をしなければならない案件が多いために 8 月 10 日現在ではほとんどの判定結果が確定していない状況であること、社内調査委員会より当初予定からは遅延があるものの 2026 年 8 月末までに調査結果を受領する予定であること、当社では社内調査委員会より当該調査結果を受領次第速やかに当該調査結果の全文を適時開示する予定であることなどをお知らせしておりました。

また、当社は、2026 年 8 月 24 日付開示資料「改善計画の策定方針に関するお知らせ」にて、外部専門家の支援を受けながら社内調査委員会の調査および特別注意銘柄指定に伴う対応に関する改善計画を策定した旨を公表しておりましたが、そこで公表した改善計画策定のスケジュールにおいて 2026 年 8 月 31 日に社内調査委員会から調査結果を受領する予定である旨をお知らせしておりました。

そうしたなかで、当社は、本日 8 月 31 日の 18 時 00 分現在において、社内調査委員会より調査結果の報告をまだ受けておりません。

そして、本日 8 月 31 日の 18 時 00 分以降に社内調査委員会より調査結果の報告を受けた場合でも、当社では、調査報告書について、秘密情報及び個人情報の保護の観点から個人名等、部分的な非開示措置が正しく施されているのかどうかを含めて確認いたします。

そのため、当社は、本日 8 月 31 日の 18 時 00 分以降に社内調査委員会より調査結果の報告を受けた場合は、当社による確認を経たうえで 9 月 1 日の早い時間帯で速やかにその旨及び調査報告書の全文を開示いたします。

なお、当社は、本日 8 月 31 日の 18 時 00 分現在において、社内調査委員会より調査結果の報告をまだ受けておりませんが、2026 年 8 月 24 日付開示資料「改善計画の策定方針に関するお知らせ」にてお知らせした改善計画策定のスケジュールについて、社内調査委員会の調査結果の報告を受けその再発防止の検討の時間をあらかじめ含めたものとなっていたという理由から変更は生じないと考えております。

この度は、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様にご迷惑とご心配をおかけいたしますことを心よりお詫び申し上げます。

以 上